

対応についての注意点

- ❖ すべての方に同じ対応というのはありませんが、基本はプライドや感情を傷付けず、周囲の落ち着いた穏やかな対応が大切です。
- ❖ 物忘れしていく不安、幻覚妄想があるとすれば、それを感じている本人の不安を否定せず、寄り添うように対応できれば素晴らしいと思います。
- ❖ 時には周囲があえて悪者になり、時には嘘も方便、柔軟な対応を心がけて下さい。
- ❖ 正しい事実を認識させ反省させる事、しっかりして欲しいと物忘れを自覚させる事は逆効果となります。自分が間違えている事、できない事を何度も指摘されると誰でも辛くなり、精神が病んできます。
- ❖ 子供の教育においては失敗から学ぶ事もありますが、高齢の方の失敗は本人にとって一利もありません。子供でも褒めて伸ばすという言葉があります。失敗させない事、なるだけ本人に感謝できる場面、活躍できる場面を作る事が理想的と考えます。
- ❖ 1人部屋にこもって何も刺激のない状態では進行が早くなります。会話や体を動かす事など本人にとって心地良い刺激を心がけましょう。無理強いはいけません。デイサービスなども利用されると良いでしょう。
- ❖ 身体や精神機能を低下への不安を生じやすいために合併しやすい精神症状にうつ病があります。うつ病になると食欲や意欲が低下し、進行が早まるとも言われています。抗鬱薬の治療で改善が期待できます。



当院の特色

精神科専門のクリニックです。専門医としての立場で治療、療養のアドバイスを致します。

- 原則予約制です 待ち時間が短くなるよう心がけます
- 予約がなくとも診察は致します 待ち時間をご容赦を
- ✕ 医師は1人です 時間内でも緊急対応力は不十分です
- ✕ 病院のように時間外の対応もできません

- ❖ 頭部CTやMRI検査の設備がございません。検査が必要な場合は、近隣の脳外科クリニック、病院、認知症疾患センター（日高総合病院、和歌山医大）にお願いしています。
- ❖ 当院は院内処方です。ジェネリック医薬品も処方致します。
- ❖ 治療に進展がない、本当にこれで良いのかという疑問がある場合、入院についても相談したい場合などは希望の医療機関、しかるべき医療機関をご紹介致します。
- ❖ 上記の事など様々な疑問があれば遠慮なく相談下さい。

院長より

治療は医師からの一方的なものではありません。あなたもご家族も積極的に取り組んで欲しいと願っています。現在は病気についての情報は書籍やインターネットから誰でも手に入れる事ができます。人に相談された事、ご自身で調べた事などお話頂ければ、一緒に考えていきたいと思えます。

医療法人 藤内メンタルクリニック

〒643-0034 和歌山県有田郡有田川町小島313-2

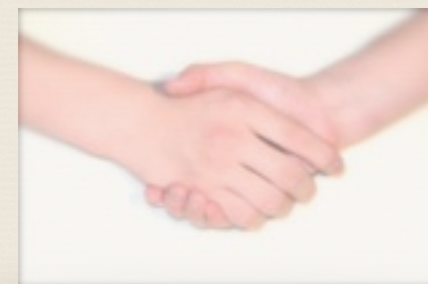
☎0737-52-7771

<http://www.eonet.ne.jp/~shin-clinic>



あなたに合ったお薬、治療法を 一緒に選びましょう

アルツハイマー型認知症



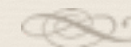
あなたがこれから行う治療やお薬を、医師と一緒に決定する事はとても大切な事です。

あなたの治療には、いくつもの方法があります。医師は多くの経験や科学的なデータからあなたにとって一番良いと思える治療を提案します。あなたからの相談や意見があれば、もっと良い方法が見つかるかもしれません。

どんな小さな事でも良いのです。

医師の意見と同じくらい、

あなたの考えや気持ちが重要なのです。



治療についての注意点

- ❖ 薬は自分で調整しないできっちり飲んでください。飲み忘れは当然生じますので、家族の協力が必要です。その上で、飲み心地、具合の悪い所などお知らせ下さい。急な場合はお電話でもお知らせください。そうする事であなたに合ったお薬、用量を調整する事ができます。
- ❖ 毎回、どの程度薬が余っているのか教えてください。
- ❖ どのような薬も相性が悪いと肝機能障害などの副作用を生じる事があります。体調が悪くなくても半年に1回程度の血液検査をお勧めします。
- ❖ アリセプトやレミニールは、不整脈の副作用を生じる可能性があるため定期的に心電図検査を受ける事をお勧めします。
- ❖ 当院では血液検査と心電図検査を行えます。結果を踏まえて、薬の調整、近隣の内科医院、病院紹介、必要に応じて和歌山医大や日赤病院等を紹介致します。
- ❖ 物忘れの度合いを調べる為に本人に質問する検査（長谷川式、MMSEなど）も必要に応じて行いますが、本人が苦痛に感じるようであれば当院ではあえて行わない場合もあります。
- ❖ 急に認知症が進行した、今までと様子が違うといった場合には身体的な問題（肺炎や脳出血など）を生じている可能性もあります。かかりつけ医があれば相談、当院でも必要に応じて検査、対応できる病院を紹介致します。



認知症の薬

【目に見えない効果】神経細胞を保護し、進行を遅らせる効果が認められています。しかし、完全に進行を止める事はできませんし、物忘れが治るという事はあまり期待はできません。

【目に見える効果】認知症に伴う活力低下、幻覚症状、徘徊、不眠、興奮などの様々な症状に対して改善が期待できる事もあります。

アリセプト（当院はジェネリックのドネベジル）

認知機能の低下に関係している脳内のアセチルコリンという物質の働きを強めます。副作用防止の為に少量の3mgより開始します。

1～2週間様子を見て通常量5mgに増量します。高度な症状に対しては10mgまで増量できます。

30日の薬剤費は5mgで1400円（3割負担で）

○ 利点

- ❖ 活力がない症状を改善
- ❖ 幻覚症状（レビー小体型認知症）への効果
- ❖ 1日1回で良い
- ❖ 比較的安い

× 欠点

- ❖ 副作用は、吐き気や下痢が10人に1人程度
- ❖ 心臓病があると使いにくい
- ❖ 怒りっぽくなる事があります

レミニール

アリセプト同様、脳内のアセチルコリンという物質の働きを強めます。神経細胞保護作用の作用もあります。副作用防止の為に少量の8mgより開始します。4週間様子を見て16mgに増量、症状に応じて24mgまで増量できます。

30日の薬剤費は16mgで3450円（3割負担で）

○ 利点

- ❖ 活力がない症状を改善
- ❖ 幻覚症状（レビー小体型認知症）への効果
- ❖ アリセプトよりも問題行動改善効果が期待

× 欠点

- ❖ 1日2回服用の必要あり
- ❖ 副作用は、吐き気や下痢が10人に1人程度
- ❖ 心臓病があると使いにくい
- ❖ 怒りっぽくなる事があります

メマリー

アリセプトとは違う作用で、神経細胞の障害を防ぎます。副作用防止の為に少量の5mgより開始します。1週間毎に5mgずつ増量し、20mgで維持します。重い認知症向きの薬です。アリセプトまたはレミニールとの併用も可能です。30日の薬剤費は20mgで3950円（3割負担で）

○ 利点

- ❖ 徘徊や興奮、攻撃的な言動にも効果が期待
- ❖ 一日1回で良い
- ❖ 言語機能の改善が期待

× 欠点

- ❖ 比較的高い
- ❖ めまいや眠気の副作用

漢方薬（抑肝散）

元々は小児のカン虫の薬です。気持ちが穏やかになり、怒りっぽい状態の改善が期待できます。10人中5～6人程度に効果が期待できるとい印象です。30日の薬剤費は1日2回で530円（3割負担で）

○ 利点

- ❖ 不眠に対しても効果あり
- ❖ ふらつきの副作用がない

× 欠点

- ❖ 顆粒で飲みにくい
- ❖ 低カリウムも副作用もある（不整脈の原因）

抗精神病薬

本来は統合失調症という精神病のお薬です。不穏や興奮状態がどうしても治まらない時に、少量を服用する事で落ち着く事があり、実際はよく使用されます。薬の種類は様々あり、病状に応じて使い分けます。さじ加減の必要な薬です。抑肝散が無効な場合などに効果が期待できます。

○ 利点

- ❖ 夜間の不眠にや不穏、せん妄に対しては睡眠薬より良い
- ❖ 睡眠薬のような依存性はない
- ❖ 次第に興奮状態や不眠が治まれば減量、中止できる

× 欠点

- ❖ 個人差で副作用が出やすく、調整が難しい
- ❖ 副作用でふらつき、転倒、誤嚥の危険がある
- ❖ 副作用で寝てばかりになる可能性がある